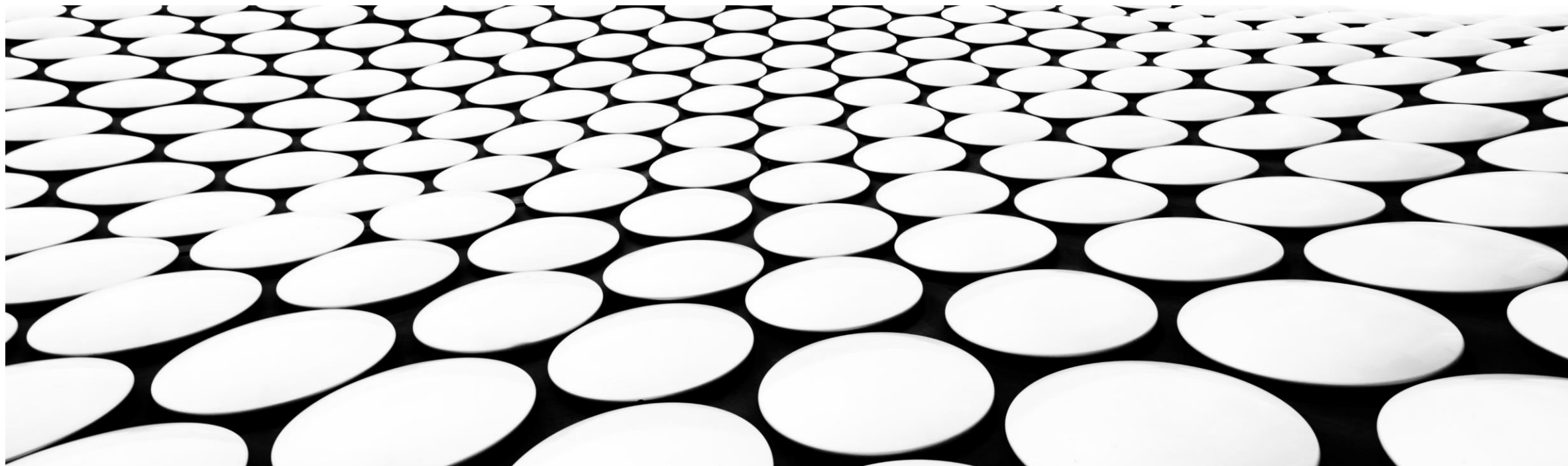


デジタル講座

メタースのビジネス活用の未来



概要

➤ メタバース

- メタバースとは、仮想世界と現実世界を融合させた新しいデジタル空間のことを指します。
- メタバースは人々が自分自身や仮想キャラクターを作成し、仮想の世界で他の人々と交流したり商品を買ったり、サービスを利用したりすることができます。
- メタバースは今後ますます発展し現実世界にも大きな影響を与えることが予想されています。

ChatGPTの回答

➤ メタバースのビジネス活用

- メタバースは、ビジネスにとっても大きな可能性を秘めています。
例えば、メタバースを利用することで、商品やサービスをよりリアルな形で顧客に提供することができます。また、従業員のコミュニケーションや協業を促進することもできます。
- メタバースは、マーケティングや広告の分野でも活用されています。企業は、自社のブランドや商品を仮想空間でプロモーションすることができます。
- メタバースはイベントや会議の分野でも活用されており従来のオフラインイベントをオンラインで開催することができます。

➤ メタバースのビジネス活用

「まちの総務」コンセプトと「メタバース」環境の融合

企業活動に横串を入れて俯瞰しますと「固有技術を除き」ほとんどが共通のお仕事をしています。

- ◆ 総務業務：勤怠管理、労務（従業員）管理、給与支払
- ◆ ITシステム：SaaS運用、ノーコード教育、運用管理、FQA
- ◆ 生産部門：設備台帳管理、測定器校正管理
- ◆ 品質部門：クレーム管理、ISO管理

お仕事は個社独立でも、内容は共通の仕組み上でのお仕事は可能です。
「担当はシステムが欲しいのではなく、回答を求めています」

各社製品別のアプローチでは無く、クラウド上の環境をメタバース上に展開し製品選択や目的をINPUTするとAIが明快な回答を示す環境づくり。

一社一社の個社で、SaaSシステム等を比較検討して運用するのでは無く
明確な目的の回答を求めに「まちの総務メタバース」上に利用しに行くイメージ。

DXセミナー

➤ メタバースのビジネス活用

ビジネスイメージ

メタバースの世界に「日本総務 株式会社（まちの総務メタバース）」が存在し、各社担当者がログインメタバース内業務単位群（SaaSソフトウェアパッケージ）の仕組みに入室して、業務指示（INPUT）を行い、業務指示を受けたメタ内のAIコンシェルジュが結果（OUTPUT）を提示。



日本総務 株式会社（まちの総務メタバース）



Image Credit: Facebook

これらは形は違えど近未来で必ず訪れる世界です、みんなでアイデアを出しながら次の時代を創造（想像）していきましょう。